

| コミュニティ活動研究会 活動記録 (2017年度) | |
|---------------------------|--|
| 活動名 | としま案内人駒込・巣鴨が主催する「六義園の紅葉と大和郷コース」への参加 |
| 報告者氏名(期) | 小石澤信男(6期) |
| 他参加者 | 小島裕子(10期)、小石澤信男(6期) 坂田博久(5期):としま案内人のボランティアガイドとして 他RSSCメンバー 宇治川さん(9期)、山本さん(10期) |
| 参加日時 | 2017年12月8日(金) 9:30~11:30 |
| 場所 | 「六義園」と周辺地域 |
| 活動の経緯 | <p>9:20~ 駒込駅北口横の「染井吉野桜公園」に集合 参加者は約20名(約7割が女性)、としま案内人からは8名 参加者10名を1組に編成して、2組で行動する。</p> <p>9:30~ 「六義園」をガイドのもとで1時間ほど散策する。</p> <p>10:30~ 六義園周辺の街並みを散策 六義園→大和郷→徳川慶喜梅屋敷跡→眞性寺</p> <p>11:30 解散</p> <p>巣鴨の商店街にある‘ときわ食堂‘で、RSSCメンバーと食事</p> |
| 感想 | <p>寒波が押し寄せ、手袋必要な非常に寒い一日であった。 RSSCからはコミ研以外からの参加もあり4名で参加した。 最初に訪れた六義園は既に紅葉の盛りは過ぎたものの、園内の造形は素晴らしかった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ガイドの巧みな説明で見るべきポイントをいろいろと知るごとに、皆、なるほどと頷きながら散策した。この庭園が徳川綱吉の側用人柳沢吉保の下屋敷として造園され、「古今和歌集」の和歌に歌われた情景をもとに和歌山県和歌の浦の景色が再現されたものであったことなど、初めて聞かされる説明に次第と歴史の中にタイムスリップしたような感覚になる。ボランティアガイドの方も経験豊かな方で、準備されたA3版の写真や資料を基にして、冗談も交えながら歴史から園内のビュースポットの説明まで、参加者を飽きさせず案内して頂いた。また、六義園のみならずその周辺地域(大和郷、徳川慶喜巣鴨屋敷跡、眞性寺)などを散策しながら『昔はこのようなところだった』と資料を見せながら説明をして頂き、この地が江戸時代からの歴史がたくさん詰まった土地であり、この地を踏みしめていることに感激した。また、このような活動を文化継承として、地域活性化として活動されている「としま案内人」の方々に対して敬意を払うと共に、シニアにとっての素晴らしい活躍の場を見出されていると感じた。</p> |